| 学校番号 | １０１５ |
|---|---|

# 平成 31 年度　芸術科音楽

| 教科 | 芸術科 | 科目 | 音楽Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版「高校音楽Ⅰ」改訂版　Music View　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主作成教材 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」の各分野を年間を通して学習する。
・学習の到達度は、授業で配布するチェックシート、授業ノート、実技テストで評価する。
・音楽の学習は、基礎を繰り返し練習し、クラスメートとともに演奏し、自分の演奏を聴いてもらうことではじめて「形」のあるものになる。

## 2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。また、一つのことに根気よく取り組む姿勢を身に付け、よき社会人として社会に貢献できる人材育成の一助とする。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:音楽への関心・意欲・態度 | b:音楽表現の創意･工夫 | c:音楽表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱･器楽･鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 | 音楽を形作っている要素を知覚し､それらの働きを感受しながら、歌唱･器楽の音楽表現を工夫し､どのように歌うか､演奏するかについて表現意図を持っている。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱･器楽の技術を身に付け、創造的に表している。 | 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート | 観察<br>ワークシート | 演奏の聴取<br>提出物 | 観察<br>ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 題材名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期中間 | 豊かな声で歌おう | 〔歌唱〕<br>校歌<br>発声トレーニング | ○ | ○ | ○ | | a:本校生徒としての自覚を持ち、歌詞の内容（地域の歴史、歌詞の表す風景等）を理解してイメージを持って取り組もうとしている。<br>b:楽曲を形作っている要素（リズム、テンポ、メロディ等）を理解し、歌詞の内容から曲想を感じ取り表現を工夫している。<br>c:自分がしたい表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | ギターを楽しもう① | 〔器楽〕<br>スクールギターメソッド | ○ | ○ | ○ | | a:ギターの音色や奏法の特徴に関心を持ち、学習しようと主体的に取り組んでいる。<br>b:楽曲を形作っている要素（音色、リズム、メロディ、テンポ、形式等）を理解し、どのように演奏するか理解している。<br>c:ギター独奏に必要な技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 音楽を聴く力をつけよう① | 〔鑑賞〕<br>「四季」より春<br>アルプス地方のヨーデル | ○ | | | ○ | a:声や楽器の音色の特徴、表現上の効果、楽曲の文化的・歴史的背景等に関心を持ち、鑑賞の学習に積極的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形作っている要素を知覚し、声や楽器の特徴と表現上の効果を感じ取り、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを感じ取って聴いている。 | ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期期末 | 二重唱を楽しもう | 〔歌唱〕<br>「花鳥風月」<br>発声トレーニング | ○ | ○ | ○ | | a:曲想、歌詞の内容、楽曲の背景を理解し、イメージを持って主体的に学習に取り組んでいる。<br>b:楽曲を形作っている要素（リズム、テンポ、メロディ等）を知覚し、歌詞の内容から曲想を感じ取り表現を工夫している。<br>c:「二重唱」という音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | ギターを楽しもう② | 〔器楽〕<br>スクールギターメソッド | ○ | ○ | ○ | | a: ギターの音色や奏法の特徴に関心を持ち、学習しようと主体的に取り組んでいる。<br>b:楽曲を形作っている要素（音色、リズム、メロディ、テンポ、形式等）を理解し、どのように演奏するか理解している。<br>c:ギター独奏に必要な技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 音楽を聴く力をつけよう② | 〔鑑賞〕<br>「四季」より夏<br>「惑星」より木星 | ○ | | | ○ | a:声や楽器の音色の特徴、表現上の効果、楽曲の文化的・歴史的背景等に関心を持ち、鑑賞の学習に積極的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形作っている要素を知覚し、声や楽器の特徴と表現上の効果を感じ取り、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを感じ取って聴いている。 | ワークシート |
| 後期中間 | 外国語の歌に挑戦しよう | 〔歌唱〕<br>オー・ソレ・ミオ<br>野ばら<br>Yesterday | ○ | ○ | ○ | | a:曲想、歌詞の内容、楽曲の背景を理解し、イメージを持って主体的に学習に取り組んでいる。<br>b:楽曲を形作っている要素（リズム、テンポ、メロディ等）を知覚し、歌詞の内容から曲想を感じ取り表現を工夫している。<br>c:外国語の発音に関心を持ち、日本語との違いを意識して、はっきりと歌詞を発音し歌おうとしている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | リコーダーを楽しもう① | 〔器楽〕<br>アルトリコーダー練習曲集 | ○ | ○ | ○ | | a:リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、学習しようと主体的に取り組んでいる。<br>b:楽曲を形作っている要素（音色、リズム、メロディ、テンポ、形式等）を理解し、どのように演奏するか理解している。<br>c:リコーダ独奏に必要な技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 音楽を聴く力をつけよう③ | 〔鑑賞〕<br>「四季」より秋<br>中国大陸の伝統音楽 | ○ | | | ○ | a:声や楽器の音色の特徴、表現上の効果、楽曲の文化的・歴史的背景等に関心を持ち、鑑賞の学習に積極的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形作っている要素を知覚し、声や楽器の特徴と表現上の効果を感じ取り、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを感じ取って聴いている。 | ワークシート |
| 後期期末 | リズムアンサンブルを楽しもう | 〔器楽〕<br>クラッピングカルテット第1番 | ○ | ○ | ○ | | a:からだを楽器として使うことに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。<br>b: ：楽曲を形作っている要素（リズム、テンポ、形式等）を理解し、どのように演奏するかについて意識を持っている。<br>c:身体を楽器として使うために必要な音楽表現の技能を身に付け生き生きと表現している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | リコーダーを楽しもう② | 〔器楽〕<br>アルトリコーダー曲集練習曲集<br>「きらきら星」による変奏曲 | ○ | ○ | ○ | | a:リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、学習しようと主体的に取り組んでいる。<br>b:楽曲を形作っている要素（音色、リズム、メロディ、テンポ、形式等）を理解し、どのように演奏するか理解している。<br>c:リコーダー合奏に必要な技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 音楽を聴く力をつけよう④ | 〔鑑賞〕<br>「四季」より冬<br>東南アジアの音楽 | ○ | | | ○ | a:声や楽器の音色の特徴、表現上の効果、楽曲の文化的･歴史的背景等に関心を持ち、鑑賞の学習に積極的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形作っている要素を知覚し、声や楽器の特徴と表現上の効果を感じ取り、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを感じ取って聴いている。 | ワークシート |

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
　　c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。